

## 妊産婦や乳幼児を抱える母親の避難所生活

2011/04/13

増山茂

医療構想・千葉

NPO 医療福祉ネットワーク千葉

宮城県や福島県の被災地で医療支援を行ってきたものとして、私の小さな感想を述べましょう。

震災の避難所は、例えば石巻の中学校の体育館としようか、たいへん厳しい環境である。

3/11 直後の急性期では、最低限の生活、つまり衣食住足の確保とケガの初期治療が最大の課題となる。床は冷たく、天井は遠く、雪交じりのすきま風が吹き込む。食べ物はなく、水につかって材木で傷ついた足が痛い。寒い、ひもじい、いたい、からの脱却にむけて総ての被災民は共同戦線を張る。妊産婦や乳幼児を抱える母親は、その集団の中で「守られる」立場にある事が多い。パニックを起こしてくるこどももいるが、落ち着くまでそっと見守ろう。寒い、ひもじい、いたい、のは母親・乳幼児とて同様なのではあるが、皆夢中であるからか、意外とこの時期の不安を聞くことは少ない

数日の急性期を過ぎると、救援物資が到着する。しかしこの中に乳幼児用のもの、母親専用のもの、妊産婦に必要なものが無いことに気がつく。

母乳が出なくなっているし、さりとてミルクもなければ、哺乳瓶もない。あったとしても清潔な水が手に入らない。おむつは払底している。清潔なタオルやシーツも無ければ、お風呂に入れることも出来ない。湿疹ができてはどうしていいかわからない。熱が出ても氷がない。薬が無くなって発作を抑えられないてんかんの子がいる。発達障害の子は体温調節がうまくできず暑い寒いに弱い。

母子はまだ「守られている」のではあるが、それだけに周囲に相談することができず閉じこもりがちになる母親もいる。

一週間十日たつと、避難所内社会秩序の形成が始まる。強いひと、声の大きいひと、が出てくる。母子・妊産婦はただ「守られている」立場ではいられなくなる。母子用の特別な配給品が沢山届けられるようになるとそれが怨嗟の対象になったりする。若い妊産婦や母親の授乳などが好奇の対象となって晒されるプライベートレスの環境であることがよりはっきりしてくる。ミルクやオムツや食料や衣類は揃ってくるが、アレルギーミルクが必要な乳児はまだ救われない。

2-3 週間もこのような環境にいると誰もがいらだちを押さえきれなくなる。赤ん坊の泣き声、ぐずり、母親のあやし声、おしっこやうんちの匂い、を不快なものと感じる方がでてくる。小児のキャッキヤと遊ぶ声に眉を潜める成人が出てくる。将来を考える余裕が出てくると、避難所の中にも格差が出来ていることがだんだん判ってくる。周囲への配慮がおろそかになり、密閉空間の中でも平気で煙草をふかすものも現れる。集団全体の秩序が揺らいでくる。四六時中、衆人環視の中に「弱者」として存在することになって、母親は平穩を失い、こどもは幼児返りし、赤子は泣き叫ぶ。

通常であれば、地域のおばさんおばあさんが備えていた育児の知恵袋もこの避難所環境では望むらくもない。地域共同体は流れ去った。メールもツイッターも使えず、ママさんネットワークにアクセスすることもできない。避難所を廻る医療ボランティアにも周産期・育児期に関する最新知識を持つ専門家は少ない。父親や連れ合いを亡くしている母親も多い。これから先の仕事を探さねばならないが、広い範囲の社会生活情報から遮断されている体育館もまだ多い。

このような環境に長期間留まることは、子にとっても親にとっても好ましくない。こどもを育てたことがあるものであれば誰にでもすぐ判る。

上記状況は、東北地方の避難所であれば、石巻北上の中学校の体育館ならずとも、どこでも同じようなものであろう。

ただ、福島県の浜通りの避難所ではさらに、放射線被曝のファクターが加わる。原発から 20-30 km 圏内の南相馬市原町地域にはほとんど妊産婦や乳幼児を抱える母親は残っていない。みな伝手を頼って北の町に移った。しかし親戚がなかったりして遠くから戻ってきた子連れ母親は相馬市の避難所には少なからずいる。

かれらの不安はいや増すばかりである。だれも正確な放射線に関する情報を提供できない。時として「汚染されたヒト」して扱われる偏見に耐えねばならない。ここはホントにこの子にとって大丈夫なのだろうか？

暗いイメージを描きすぎたかもしれない。

自宅とご主人を同時に失いながら、2人の子供を抱えて、笑顔を絶やさず、ご老人に優しい言葉をかけ、タバコを吸っているおじさんをたしなめ、若者を叱咤しまきを集めては炊き出しの指揮をとり、避難所のリーダーを務めているタフなお母さんも実は知っている。

しかし、その踏ん張り母さんとて夜が来ると何を考えるだろうか。その踏ん張りはいつまで続くだろうか。

このような妊産婦や乳幼児を抱える母親をぜひ、日本の社会全体で受け止め、明るく暖かく清潔な環境に迎えてあげたいものである。